

取得価額が資産とのれんのどちらに配分されようとも、連結当期純利益には同じ影響を与える。

Which of an asset or a consolidation adjustment account a purchase price is allocated to has the same effect on a consolidated net profit.

X0期末のB社の貸借対照表

有形固定資産	100	資本金	100
--------	-----	-----	-----

有形固定資産は定額法により減価償却を行う。残存耐用年数は5年である。

A社はX1期首にA社の全株式を150で取得した。

①取得価額をのれんに配分する場合

のれんは定額法により規則的に償却を行う。償却期間は5年とする。

連結貸借対照表上のB社の有形固定資産の価額は100であり、

連結貸借対照表上ののれんの価額は50である。

この時、のれんの償却が連結当期純利益に与える影響は、

每期「－10」である。

そして、5年間トータルでは「－50」である。

②取得価額を有形固定資産に配分する場合

連結貸借対照表上のB社の有形固定資産の価額は150であり、

連結貸借対照表上ののれんの価額は0である。

この時、B社の有形固定資産の償却が連結当期純利益に与える影響は、

每期「－10」である。

そして、5年間トータルでは「－50」である。